

米国環境保護庁
ワシントン D.C. 20460

大気放射局

2019年4月3日

ENERGY STAR®コンピュータパートナーもしくは他の関係者各位

米国環境保護庁(EPA)は、このレターで ENERGY STAR コンピュータ基準及び試験方法のバージョン 8.0 第 1 草案を公表する。バージョン 7.0 の基準の一部として議論していた通り、バージョン 8.0 では、EPA はデスクトップ、一体型デスクトップ、及びワークステーションを取扱っている。関係者は、2019 年 5 月 3 日までに意見を computers@energystar.gov に寄せられたい。

EPAは、ENERGY STARの分類体系、モード別比率、内部電源装置、及び可能な対象製品の修正に焦点を当てて、関係者のレビュー及び意見に対する論点整理文書を公表した。EPAは、早期のフィードバックにより、基準及び試験方法の第 1 草案を公表する。基準内の注記ボックスでは、EPAの提案の論理的根拠を提示している。基準で取挙げていない意見は、添付の意見とEPAの回答文書の中で回答する。この資料には、EPAデータセットとして、第 1 草案用データ及び節減量推計を含めたデータを添付している。バージョン8.0第 1 草案では次のキーエレメントを含んでいる。

エネルギー(電力消費量)基準

デスクトップコンピュータの市場浸透率は52%、ワークステーションは21%である。このため、EPAはデスクトップにはより厳格なENERGY STAR基準を提案している。この提案は、デスクトップのいくつかの分類を合体し、基本許容幅を減らし、許容値を調整し、ENERGY STARディスプレイ及びノートブック改訂版及びカリフォルニアエネルギー委員会(CEC)の基準策定作業からの最近の情報を考慮している。EPAは、重要な関係者のデータに基づいてモード別比率も調整した。ワークステーションのモード別比率もこの関係者のデータに基づいて修正したが、ENERGY STARワークステーションの市場シェアが低いので、基準は変えなかった。

内部電源基準

EPA は全ての内部電源に対し、80 プラスゴールド基準又はその等価基準に拡張することを提案している。これは論点整理文書に関して受け取ったコメントを考慮してバランスを取っている。この提案は、低負荷点での電源性能が低いことに対処する一方、製造事業者に追加試験の負担を掛けないためである。

意見提出

EPA は、添付の基準バージョン 8.0,第 1 草案に関する関係者の意見を歓迎する、関係者は、2019 年 5 月 3 日までに computers@energystar.gov 宛てに意見を提出されたい。意見は全て、特段の要求が無い限り、[ENERGY STAR Product Development website](https://www.energystar.gov/product-development) に掲載する。

関係者ウェブ会議

EPA は 2019 年 4 月 16 午後 1~3 時東部時間に、この第 1 草案に対する質問に答えるウェブ会議を開

催する。出席希望者はここに登録されたい。

EPA、産業界、及び他の興味のある団体とのアイデア及び情報の交換は、ENERGY STARの成功に不可欠である。基準及び会合資料はEメールで配信し、且つENERGY STARウェブサイトに掲載する。この基準に関するEPAの進捗状況を知るために、コンピュータ開発ウェブサイトにアクセスされたい。

この基準に関する質問又は懸念については、小職、Fogle.Ryan@epa.gov (202-343-9153)又は、John Clinger, ICF, John.Clinger@icf.com (215-967-9407) に連絡されたい。試験方法に関する質問に関しては、Jeremy Domm, 米国エネルギー省(DOE), Jeremy.Domm@EE.Doe.Gov (202-586-9870)に連絡されたい。コンピュータ関連の質問に関しては、computers@energystar.govにアクセスされたい。ENERGY STARプログラムの支援継続に感謝する。

Ryan Fogle

EPA マネージャ、ENERGY STAR- IT 及びデータセンター製品

同封：

製品基準バージョン 8.0 第 1 草案

試験方法バージョン 8.0 第 1 草案

バージョン 8.0 第 1 草案データセット (2019 年 5 月 24 日)

バージョン 8.0 第 1 草案データ分析パッケージ

論点整理への意見と EPA の回答